

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	教育学部 人文・社会科教育
学年(出発時)	一年
大学名	ノースカロライナ大学ウィルミントン校
国	アメリカ
留学期間	2015年 01 月 07 日 ~ 2016 年 01 月 06 日
派遣先での身分	国際交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	
14:00	
15:00	
16:00	
17:00	
18:00	
19:00	
20:00	
21:00	
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Principles of Economics-Micro	2.5時間	3	英語	レクチャー 試験
Principles of Economics-Macro	2.5時間	3	英語	レクチャー 試験
International Trade and Finance	2.5時間	3	英語	レクチャー 試験 プロジェクト
English as a Second Language	2.5時間	3	英語	レクチャー 試験 ディスカッション
Intermediate Microeconomics	2.5時間	3	英語	レクチャー 試験
Financial Markets and Institutions	2.5時間	3	英語	レクチャー 試験
Introduction to Statistics	2.5時間	3	英語	レクチャー 試験
Japanese 301	2.5時間	3	英語	レクチャー 試験 プロジェクト

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	ラーニングセンターで一对一のチューター
語学コースの有無	
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	寮
住居の名前	suite
部屋タイプ	シェアルーム
ルームメイト(国籍)	オーストラリア人とアメリカ人
室内設備	テーブル、椅子、クロゼット
共用施設	キッチン、バスルーム、トイレ
インターネット設備	無線
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	全て学校内
アルバイトの有無	有
アルバイトの内容	ラーニングセンターで中国語と日本語のチューター

渡航	
Visaの種類	J1 Visa
Visa申請先	大阪
Visa取得にかかった日数	一ヶ月
Visa取得にかかった費用	1.5万円ぐらい
Visa取得方法、提出書類等	大使館での面接、パスポート、DS-2019、I-901 SEVIS費確認書、残高証明書、面接予約確認書、在留カードの両面のコピー
留学先大学の最寄り空港までの経路	車で20分
渡航費用	飛行機代22万
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有
有る場合、その理由	単位と自分のコース要求
就職活動開始時期	2016年3月
帰国後の進路	就職活動へ参加

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ドル＝120円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	7万円ぐらい(一年)
学費(教科書代や語学コース授業料等)	教科書5万円ぐらい(二つの学期)
宿舍費(月額)	8.5万円
光熱費(月額)	宿舍費に含まれている
食費(月額)	5.5万円
その他	電話代5千円
留学期間中にかかった費用の合計	15万(月額)

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

当地の大学へ行ったら、全ての授業は英語で行われています。アメリカへ行く前に、トーフ試験の成績はノースカロライナ大学ウィルミントン校の最低限に満たしましたため、語学コースを取らないで、アメリカの学生と一緒に授業を受けました。経済に関する授業をとりましたので、専門用語が多くて、当地の先生方の英語もスピードが速く、あまり授業に追いつかないことが多かったです。授業の前にテキストを読んで、授業中に録音して(先生の認めをもらった)、授業の後に録音を聞くというふうに第一学期を完了しました。大事なものは、積極的友達を作ることです。アメリカ人は結構親切で、ノートをシェアしてくれます。留学生はみんな自分のアドバイザーがついて、授業に関しても、生活に関しても、すべてそのアドバイザーと相談します。自分はアドバイザーから、最初の授業に自分は国際交換留学生であることを先生に教えて、先生からどのようにこのコースを勉強すればいいのかを色々アドバイスがもらえる、と教えてもらいました。自分はコース番号4から始まった授業(最初の番号が高ければ、授業の内容もそれなりに難しくなります。このような授業をとるために、授業登録のアドバイザーから自分が条件を満たすかどうかを確認した方がいい)を取ったので、先生は語学力のことを配慮してもらって、每章を始める前に自分に去年のパワーポイントをおくってもらいました。授業の予習にとっても役に立ちました。二つ目の学期は、英語に慣れていって、自分でノートがとれるようになりました。第一学期で一定のGPAが修得できれば、ラーニングセンターでチューターのオンキャンパスのアルバイトをしました。日本語と中国語を教えていました。チューターで勉強がさらに忙しくなりましたが、いっぱい友達ができました。チューターはアメリカの留学生活で一番意味のあることだと思います。英語で教える上に、ラーニングセンターでチューターのトレーニングもさせてもらいました。英語のスピーキング能力を向上させただけでなく、チューターとしての教え方、チューティーと心理的な対応などの学校心理学のことも実践してきました。なんといっても、アメリカ人と接することを通して、アメリカのことをしみじみに感じてきました。

今後留学する人へのアドバイス

もし、フォーフルの点数が足りなかったら、最初に語学のコースを取ってもかまいません。自分も語学コースに関してあまりよく分かりませんが、日本からESLコースをとる学生が結構います。アメリカの教科書は確かに値段が高くて分厚いですが、帰国の荷物にならないことを考えたら、あちらで教科書をレンタルするか、電子版の教科書を購入するかをおすすめです。節約のため、古い教科書を買うこともできます。そちらの気候は、冬があまり寒くなく、夏はとても蒸し暑いです。一年中flip flopを着る学生が結構います。あまり厚着をいっぱい持たないのをお勧めです。そちらは結構雨の日が多く、傘とかレインコートを用意した方がいいです。何があっても、先に自分のアドバイザーと相談すること。生活の面に何かあったら、自分のメンターと相談しましょう。(メンターもその大学の学生) アメリカの大学システムでは、試験が多く設けられています。ほとんどの授業は一学期にかけて、3~4回のテストがあります。試験は結構成績と関わっているの、日頃にきちんと勉強し続けるように頑張りましょう。

報告書記入日